

## サウジアラムコとの協業検討に関する覚書の締結について

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、サウジアラビア王国の国営石油会社サウジアラビアン・オイル・カンパニー(以下、「サウジアラムコ」と、協業検討に関する覚書を締結し、3月14日に開催された「日・サウジ・ビジョン2030ビジネスフォーラム」において同覚書の交換式が執り行われましたので、お知らせいたします。

日本は年間の原油輸入量の3割超を同国から調達しております。当社にとってもサウジアラムコは主要な原油調達元であり、長年にわたり友好的な関係を築いてまいりました。

この度の覚書締結は、同国サルマン国王の来日を機に、サウジアラムコとの間で「石油精製・石化事業の協業検討」をはじめ、中・下流事業において、両社にとって有益な共同事業機会を創出すべく、検討を進めることとしたものです。

当社は、サウジアラムコとのさらなる関係強化により、日本国内における石油の安定供給に引き続き貢献してまいります。

【協力覚書 交換式】



左より サウジアラムコ 副社長  
サウジアラビア王国 経済計画大臣  
JXホールディングス 代表取締役会長  
経済産業大臣

サイード A. ハドラミ 氏  
アデル・ビン・ムハンマド・ファキーフ 氏  
木村 康  
世耕 弘成 氏

以上